

人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目にしたがってご投稿下さい。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、
2. (1)所属部門・所属講座、(2)勤務地、
3. 専門分野、
4. 職務内容・担当科目、
5. (1)着任時期、(2)任期、
6. 応募資格、
7. 提出書類、
8. 応募締切・受付期間、
9. (1)提出先、(2)問合せ先、
10. 応募上の注意、
11. その他（待遇など）

国立天文台電波天文学研究系教員

1. 助教授 1名
2. (1)国立天文台・電波天文学研究系
(2)長野県南佐久郡南牧村野辺山
3. 電波天文学（宇宙電波）
4. 宇宙電波分野では、45m電波望遠鏡とミリ波干渉計を中心とした研究活動、共同利用運用を行うとともに、スペースVLBIやサブミリ波領域の開拓、そして日本の電波天文学の次期計画としての大型ミリ波・サブミリ波アレイ計画の推進など新しい学問の展開をはかっています。これら宇宙電波分野の研究の動向を踏まえ、研究グループを組織し、その軸となってサイエンスを積極的に推進できる人を希望します。
5. (1)決定後なるべく早い時期
(2)外国籍の方の場合は任期を定めることがあります。
6. 大学院博士課程修了、またはそれと同等以上
7. (1)略歴 (2)研究歴 (3)論文リストおよび主要論文別刷（共著の場合はその役割分担） (4)自薦の場合は研究計画と本人について意見を述べられる人2名の氏名と連絡先 (5)他薦の場合は研究計画も判る推薦書（必要に応じ、被推薦者に資料を請求することがあります）
8. 平成6年5月23日(月) 必着
9. (1)郵便番号 181 東京都三鷹市大沢 2-21-1
国立天文台長 古在由秀
(2) 国立天文台 電波天文学研究系 石黒正人
電話：0267-63-4396
Fax：0267-98-2884
10. 封筒の表に「電波天文学応募書類在中」と朱記し、簡易書留でお送り下さい。
11. 選考は国立天文台運営協議員会において行います。

名古屋大学理学部物理学教室教員

1. 助教授又は助手 1名
2. 光一赤外線天文学(Z)研究室

3. 観測（光一赤外線）天文学

現在、当研究室では実験開発用望遠鏡を建設中で、すばる望遠鏡観測装置の製作に着手しています。観測手段の開発とともに、星の形成進化を通してみた銀河進化や宇宙構造の研究を目指します。

新しい研究室の創設に情熱を持って取り組んで頂ける方を希望します。

5. (1)決定後、できるだけ早い時期。
(2)なし。
6. 特になし。
7. 履歴書—1通。
研究歴、論文リスト、主要論文別刷、各2部。
推薦書または本人について所見を求めうる人の氏名。
8. 1994年5月31日(火)必着のこと。
9. (1)〒464-01 名古屋市千種区不老町
名古屋大学理学部 物理学教室
主任 山下広順
(2)同教室
電話番号 052-781-5111（内線6672）
FAX 052-782-9526
佐藤 修二
10. ○封筒に“光赤外線—Z研”応募書類在中と朱書の上、書留とすること。

平成7年度基礎科学特別研究員

科学技術庁と理化学研究所とは、連携して我が国の基礎研究を強力に推進するため、平成7年度の基礎科学特別研究員を募集します。斬新な研究課題を自主的に遂行できる若い研究者の応募を期待します。

1. 25名程度
2. 理化学研究所
3. 物理学、化学、生物学（生物科学・医科学）、工学の各分野で、理化学研究所で実施可能な研究
6. 平成7年4月1日現在35歳未満の健康な者で、博士号取得者又はこれと同等の研究能力を有すると認められる者
日本国に永住権を有さない外国人にあっては、上記に加え次の条件を満たす者
 - ① 応募日現在で日本国に在住している者であって、
 - ② 日本国の大学院博士課程を修了（見込を含む）し、博士号を取得（見込含む）の者
11. ① 謝金 月額 50万円程度（社会保険料、税込）
② 通勤費 実費（上限4万円/月）

- ③ 住宅費 家賃の一部支給
以上のほか、研究費として138万円/年程度
5. (2)連続して最長3年間を限度とし、毎年度所要の評価により契約更新
8. 平成6年6月15日(水)【必着】
応募したい方は下記に平成6年5月31日(火)迄に問い合わせのこと
【応募書類の頒布締切：平成6年6月1日(水)】
理化学研究所研究業務部・基礎科学特別研究員制度担当
☎ 351-01 埼玉県和光市広沢2番1号
電話 048-462-1111 内線 2461~2463
FAX.: 048-462-4608
【直通☎・Fax.: 048-463-3687】

その他 本件は関係予算の成立を前提としており、その事情により変更がありますので、その旨御承知おき下さい

国立天文台光学赤外線天文学研究系・大型光学赤外線望遠鏡計画推進部教員

- 教授 1ないし2名、および助教授または教授 1名
- (1)光学赤外線天文学研究系または大型光学赤外線望遠鏡計画推進部
(2)当面三鷹、将来はハワイもあり得る
- 光学赤外線天文学及び関連分野
- 光学赤外線天文学研究系と大型光学赤外線望遠鏡(すばる)計画推進部とは、観測的研究・観測所での共同利用の支援などを行ないつつ、ハワイに設置する「すばる」望遠鏡の計画を、全面的協力のもとに進めています。これらの活動を積極的に担い、とりわけハワイでのすばる望遠鏡の計画推進、建設、立ち上げ、運用、また開発などを責任をもって進める教授、および助教授または教授を求めます。
- (1)決定後なるべく早い時期
(2)外国籍の方の場合は、任期をつけることがあります
- 大学院博士課程終了またはそれと同等以上
- (1)略歴書、(2)研究歴(これまでの研究内容の概要を含む)、(3)研究論文リスト及び主要論文の別刷、(4)自薦の場合は着任後希望する研究計画および本人について参考意見を述べることのできる人2名の氏名・連絡先、(5)他薦の場合は研究計画もわかる内容の推薦書
- 応募締切：平成6年5月23日(月)必着
- (1)〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1
国立天文台 台長 小平桂一

(封筒の表に「光学赤外線・大型望遠鏡計画推進部 人事応募書類在中」と朱記し、簡易書留にてお送りください)

- (2)国立天文台光学赤外線天文学研究系
海部宣男 〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1
(Tel: 0422-34-3610)

10. 「教授」か「助教授」かの希望を明記のこと。また所属について「光学赤外線天文学研究系」あるいは「大型光学赤外線望遠鏡計画推進部」のいずれかを特に希望する場合は、理由を付して明記のこと

研究助成

東レ科学技術賞・研究助成

東レ科学振興会から次の概要が届きましたのでお知らせします。応募用紙は6月頃天文学会に送られてくると思います。

- 東レ科学技術賞(概要)
 - 候補者の対象……貴学協会に関する分野で、下記に該当するもの
 - 学術上の業績が顕著なもの
 - 学術上重要な発見をしたもの
 - 重要な発明をして、その効果が大きいもの
 - 技術上重要な問題を解決して、技術の進歩に大きく貢献したもの
 - 科学技術賞……2件前後、1件につき、賞状、金メダルおよび賞金500万円
 - 候補者推薦件数……1学協会から2件以内
 - 推薦締切期日……平成6年9月26日(月)天文学会必着
- 東レ科学技術研究助成(概要)
 - 候補者の対象……貴学協会に関する分野で国内の研究機関において基礎的な研究に従事し、今後の研究成果が科学技術の進歩、発展に貢献するところが大きいと考えられる**独創的、萌芽的研究を活発に行っている若手研究者**
 - 研究助成金……総額1億3千万円、10件程度。とくに必要と認められる場合は1件、3,000万円程度まで助成する
 - 候補者推薦件数……1学協会から2件以内
 - 推薦締切期日……平成6年9月26日(月)天文学会必着

会務案内

日本天文学会評議委員選挙結果と候補者名簿

日本天文学会評議員会選挙施行細則に基づき、評議委員選挙管理委員会は、平成6年1月10日を投票締め切りとして選挙を行い、開票作業を行いました。

以下にその結果を報告します。

投票者総数 245人

投票総数 2450票 白票 464票 無効票 14票

投票結果

順位	氏名	投票数	順位	氏名	投票数
1 (1)	大野洋介	76	17 (13)	松本敏雄	26
1 (1)	海部宣男*	76	18 (14)	福江純	24
3 (3)	小平桂一*	73	19 (15)	田中靖郎	23
4 (4)	加藤睦彦	72	19 (15)	笹尾哲夫	23
5 (5)	岡村定矩*	64	19 (15)	黒田武彦	23
6 (6)	奥田治之*	48	19 (15)	尾崎洋二	23
7 (7)	戒崎俊一	41	23	林正彦	22
8 (8)	土佐誠*	40	24	松田卓也	21
9 (9)	高原文郎*	38	25	小杉健郎	20
10 (10)	野本憲一*	37	25	石黒正人	20
10 (10)	福井康雄*	37	27	家正則	19
12	舞原俊憲*	36	27	佐藤文隆	19
13	内田豊*	33	29	羽部朝男	18
14 (11)	観山正見	28	29	福島登志夫	18
14	磯部珠三*	28	29	有本信雄	18
14 (12)	佐藤修二	28	以下省略		

氏名欄で*付きの人は評議委員重任者であることを示します。順位欄で()付き数字は重任規定を考慮した後の順位を示します。

評議員選挙施行細則第6条により、前期よりの重任者は7名まで、また「重任者が7名を越える場合は8番目以下を無効として、重任者以外の次点者を順次計15名になるまで繰り上げる」とあります。

今回の選挙の開票結果は、重任者の順位で最下位当選者に該当する7番目の方が2名となっており、全体の最下位者も4名あります。そこで細則に基づき選挙管理委員会において抽選した結果、重任者に於いては福井康雄氏を、15位においては笹尾哲夫氏を選びました。以上により1994年(平成6年)通常総会に推薦される評議員は(任期:1994年~1998年)の候補者は以下のように決定しました。

大野洋介	奥田治之	観山正見	海部宣男
戒崎俊一	佐藤修二	小平桂一	土佐誠
松本敏雄	加藤睦彦	高原文郎	福江純
岡村定矩	福井康雄	笹尾哲夫	

重任者次点

次点

野本憲一 田中靖郎, 黒田武彦, 尾崎洋二

平成6年1月25日

第10期選挙管理委員会

天文月報海外速送サービス

海外在住会員の方が天文月報を速く入手できるように、SAL便の取扱サービスを有料で行っております。ご希望の方は下記の要領にしたがってお申し込み下さい。

- サービス料金: 1年間2400円。年会費と併せて1年ごとに納入して下さい。
 - 申し込み: 原則として年1回(4月期のみ)受け付けとします。締切前に学会へ届くように、送付先・氏名・会員番号を明記の上、書面でお申し込み下さい。書式は問いません。ただし、会費納入後に渡航が決まった方のための便宜措置として、10月期を設けます。
4月期=1月31日までに次年度会費と併せて前納して下さい。
10月期=7月31日までにサービス料金を前納して下さい(会費既納のこと)。「これは、年度途中で渡航が決まった方のみの経過措置サービスです。さらに継続を希望する場合は翌年の4月期に忘れずにお申し込み下さい。この場合、料金は1200円です。」
 - サービス期間: 1年単位。4月号から発送します。10月期の場合は10月号から半年間発送します。
4月期=4月号~次号3月号(例:1994年1月31日までに申し込んだ方は1994年3月20日発行の4月号~1995年2月20日発行の3月号)に適用します。
10月期=10月号~次年3月号(例:1994年7月31日までに申し込んだ方は1994年9月20日発行の10月号~1995年2月20日発行の3月号)に適用。
 - 更新: 申し込み締切までにご連絡のない場合は、次期のサービスを打ち切り、船便とします。自動更新はいたしません。
 - 清算: サービス期間途中で日本へ帰国するなどの理由でサービスを受ける必要なくなった場合は、帰国後にお申し出になった時点で送料の清算をいたします。送付先が変更になった場合は至急ご連絡下さい。
 - 問い合わせ: ご不明な点は学会事務室までお問い合わせ下さい(本誌奥付参照)。
- 注1. SAL便では、海外宛のパンフレット・書籍等は、日本から約2週間で送られます。
- 注2. SAL便が取り扱われていない国については、同一手続きで航空便でお送りします(料金も同一です)。
- 注3. SAL便サービスの申し込みをされない方は従来どおり、送料学会負担で船便送付とします。
(天文月報編集委員会、会計理事)

年会予稿集の購入について

本誌 87 巻 2 月号 (月報だより) でお知らせしましたように、今回から年会予稿集は希望される方々のみ配布することになりました。春季年会予稿集は 4 月 20 日発行の予定。お申し込みになりました方は前もって天文学会宛に代金を納入されるようお願いいたします。自動引落をお申し込みになった方は必要ありません。

代金未納の場合はお届けできないことがありますので、ご諒承下さい。

銀行自動引き落しを申し込まれた方へ

○ 2 月 21 日までに申し込まれた方の銀行引き落とし日は **4 月 10 日**です。

2 月 21 日以降に申し込まれた方は銀行引き落としは 8 月の予定です。

○ 自動引き落としをお申し込みの方は中止のお申出のない限り、1994 年度会費から自動的に毎年引き落としされます。

従って 1994 年度以降の会費を郵便振替その他の方法で別途納入された方は必ずお申出下さい。

研究会・集会案内

「Oji International Seminar on Elementary Processes in Dense Plasmas」

主催：標記王子セミナー組織委員会

後援：藤原科学財団，日本学術振興会

日時：1994 年 6 月 27 日 (月)～7 月 1 日 (金)

場所：ホテルニュー王子

住所：〒 053 北海道苫小牧市表町 2-1-30

電話：0144-33-6121

内容：

高密度物質中での素過程 (核反応，核合成，原子・分子励起，電離平衡，電子輸送，磁場過程，光子散乱・吸収過程など) の生起確率と物質状態との相互関係に関する研究活動と成果について，実験・観測・理論各々の見地から討議する。関連分野は，プラズマ・高密度物質物理とそれにまたがる原子核・原子分子・凝縮系・天体物理を含む。対象系は，太陽 (主系列星)，巨大惑星，白色矮星，中性子星など各種天体の内部・表面物質・外気層，および実験室での金属と合金 (固相，乱雑相，液相，超高压相)，半導体 (電子，正孔，凝縮系)，高压凝縮プラズマなど。

参加予定者数：国外約 20 名，国内約 50 名。

参加登録費：25,000 円

(予算の枠内で，若手参加者の一部に参加費の補助が可能です。)

参加申込方法等は下記にお問い合わせ下さい。

連絡先：〒 113 東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学大学院理学系研究科物理学教室内
一丸研究室 尾形修司

電話：03-3812-2111 内線 4249

FAX：03-5802-2988

Email：ogata@tansei.cc.u-tokyo.ac.jp

NRO ワークショップ (URSI J 共催)

第 5 回「中小口径電波望遠鏡に関するワークショップ」

今年は，URSI J と共催で，下記のような要領で中小口径電波望遠鏡に関するワークショップを開催したいと思います。

今までこのワークショップは各地での電波望遠鏡の状況や，関連する新しい技術を多くの方々に講演していただきました。

今回特に，下記のような特別講演を予定しております。

1) アンテナ光学系設計

増田 (三菱電気通信機製作所)

2) (光)増幅の量子過程 清水 (東大・教養・物理)

3) ミリ秒パルスタイミング計測

花土または今江 (通総研鹿島)

4) VLBI ファンダメンタルズ

川口 (国立天文台野辺山)

5) 首都圏広域地殻変動観測プロジェクト

地震予知観測の概要 日置 (通総研鹿島)

VLBI システム 栗原 (通総研鹿島)

今年もまた多くの方々に参加をお願いするものです。旅費につきましては関係者一同努力しております。事情ご理解の程お願いします。

開催要項

日時 1993 年 3 月 29 日 (火) 13 時～30 日 (水) 16 時

場所 研究会：鹿島町勤労文化会館

エクスカッション及び懇親会：通総研鹿島宇宙通信センター

参加御希望の方は **2 月 15 日 (火)** までに下記まで御連絡下さい。

送付先 〒 464-01 名古屋市千種区不老町
名古屋大学理学部物理
小川英夫

TEL 052-781-6769

FAX 052-782-0647